

調べ学習のポイント

たとえば、毎日食べている食べ物にも、不思議なことがいっぱいありますね。

「何でだろう」「どうなっているんだろう」「理由を知りたいな」と思うことがあったら、自分で調べてみましょう。

調べてわかったことは、レポート（報告書）にまとめましょう。

このページでは、レポートにまとめて、報告するまでのポイントをぼくたちが案内します。調べ学習や自由研究に役立ててください。



1 何について調べるか決める

どんなことに興味をもったか、何を知りたいか、まず、調べる題材を決めることから始めます。



ふだんの生活の中で気になっていたことや、不思議に思っていたことを書き出してみるのもいいですね。何について調べるか決まったら、次はそのための準備です。

食べ物のことや自然



のこととか・・・身の回りにも知りたいことがたくさんあるね。

自分で調べたいことを、自由に選んでみてね。

2 どんな結果になるか予想する

調べることが決まったら、次は、それがどんな結果になるか予想してみましょう。

今まで勉強してきたことも、役立つかもしれませんね。いろいろ想像してみると、なんだかワクワクしてきますね。



予想を立てる事を



「仮説」といいますが、

調べ学習では、これがとても重要です。

「やっぱりそうか！」「予想とちがった！」など、おどろきがあると、記憶に残りやすく、キミの調査は大成功となります。

3 どうやって調べるか考える



何について調べるか決まりましたか？
次はどうやって調べるか考えてみます。
いろいろな方法がありますね。

たと
例えば…



- 図書館で調べる
 - 事典や図鑑で調べる
 - インターネットで調べる
 - 家の中や、町の中を調べる
 - 実験する ● 観察する
 - 他の人に質問する
 - 家族や友達などにアンケートをする
- なんだか、名探偵になった気分です。



何から調べようか。
どのくらい時間が必要かな。
いつまでに完成させるか。目標
を決めて、そのための計画をし
っかりと立てようね。



インターネットの検索機能

を使うと、知りたいことが
すぐわかるよ。でも、インターネット上では、
いろいろな犯罪にまきこまれることもあるか
ら、使う時は、家族や先生に相談してね。
子ども向け検索サイトがおすすめです。

4 調査を開始する



さあ、準備万端。いろいろな角度から、よく調査し
ましょうね。

わかったことは、か条書きにして、キミの感想も付
け加えておくといいですよ。



本で調べるときは、
目次や索引が役立ちます。
大切なところはメモを取ったり、
本に紙をはさんでおくのもいい
ですね。本の名前や著者など
もひかえておきましょう。参考
にした本」として、レポート（報
告書）に書くためです。



調べているうちに、
「何でだろう？」と
新しい疑問がわいてきたら、
疑問のままにしないで、図書館
やインターネットで調べてね。



実験をするときは、
十分に注意して、必ず、先生やお
うちの人に相談してください。

5 レポート(報告書)をまとめる

いろいろなことが、わかりましたか？次は、まとめに入ります。最初は下書きをしてみるといいですね。

レポート(報告書)には決まった書き方があるので、それにしたがってまとめます。

1. 題名：問いの形でそのまま書く
2. はじめに：なぜ、この題名に興味を持ったかを記入する
3. わかったこと：調べたことの中から、必要なことを書き出す。内容ごとにまとめ、順番を考えて並べる
4. まとめ：題名の問いに対する答えをまとめる
5. 参考にした本：本の名前、著者、出版社、発行された年を記入する

このようにして下書きが整理できたら、図や表、写真などを使って見やすくまとめましょう。家族にも見せて、感想を聞いてみましょう。



図や表を作ったり、
絵や写真を上手に使うと、
見る人がわかりやすいレポート
(報告書)になりますね。



レポートを読み上げる
のか、大きな紙に書いてみんな
の前で発表するのか、プリント
して配るのか、報告の方法に合
わせてまとめかたを工夫して
ね。

6 まとめた内容を報告する

さあ、いよいよ報告です。いろいろ調べてわかったこと、工夫してまとめたことを発表しましょう。

では、キミのレポート(報告書)を
楽しみにお待ちしております。



—— シャロク



当日は、必要なものが
そろっているか、
わすれずチェック！
みんなの前で発表したり、読
み上げたりする時は、大きな
声でハッキリとね。
家で練習してみるのもいい
ね。